

政策の柱	VI 持続的発展が可能な都市の自治基盤を確立するために	政策名 (基本施策名)	1 市民が主役のまちづくりを推進する	施策名	② 地域主体のまちづくりの促進
------	-----------------------------	----------------	--------------------	-----	-----------------

1 施策の取組状況

主要な取組内容	施策指標の実績とH24末の見通し	指標の達成率	施策指標等 (最上段が、総合計画に基づく指標)	単位	指標の数値(上段:目標値, 下段:実績値)						達成率	
					H19	H20	H21	H22	H23	H24	H23	H24
					基準年	実績	実績	実績	実績	見込み	H24見通し	H24見通し
暮らしやすく魅力ある地域の形成を図っていくため、「地域主体のまちづくりの推進」に取り組んでいる。 ◆地域主体のまちづくりを促進するために、人材発掘・育成、活動場所の確保、活動費の補助などの支援を行い、地域住民が、地域の特性に合わせたまちづくり活動に取り組めるよう基盤強化を図っている。 ◆地域自らが目指すべき姿を描く地域まちづくり計画(地域ビジョン)の策定に向け、会議の円滑な進行や行政情報の提供などの支援を行っている。 ◆地域まちづくり活動を市民協働で行えるよう、地域行政機関における地域コーディネートを担当する職員の育成を行い、支援機能の充実を図っている。	◆総合計画に掲げた指標である地域まちづくり計画について、現在4地区で策定が完了したことを受けて、他地域においても、地元勉強会が開催されており、策定に向けた意識が高まりつつある。 ⇒ 地域まちづくり計画の策定にあたっては、地域住民の主体的な取り組みとなるために、理解促進、機運醸成に多くの時間を要することから、設定している推進地区数39地区の目標値の達成は、難しい情勢にある。今後とも、引き続き先進地区の事例をPRしながら、策定意欲の向上に努めていく。	35.9%	地域まちづくり計画推進地区数(累計)	地区	1	5	5	10	39	35.9%		
					0	1	4	4	14	20	51.3%	
課題 ◆地域の最も基礎的で中核的な団体である「自治会」への加入を促進し、地域コミュニティの増進を図る必要がある。 ◆地域総意による地域まちづくり計画の策定を促進し、多くの地域住民の参加と目指すべきまちづくりの姿の共有化を図る必要がある。 ◆地域まちづくりに係る多様な団体の組織運営や団体間の連携を支援し、自立的なまちづくりの実現を図る必要がある。			市民意識調査(重要度・満足度)		H20	H21	H22	H23				
					重要度	54.8	52.9	47.9	61.3		%	
					満足度	16.1	17.6	12.7	23.6		%	

2 重点事業の進捗状況

事業名	スケジュール		事業の進捗状況とH24末の見通し	課題
	前期	後期		
地域まちづくり組織の連携強化の促進			◆地域主体のまちづくりの実現に向け、「地域支援担当職員」による地域まちづくり組織の団体育成の支援、「協働の地域づくり支援事業補助金」を活用した財政支援、地区市民センター、地域コミュニティセンター等活動場所の確保など、各種支援等を展開することにより、地域の自立的な活動が活発に行われてきている。 ◆また、地域を構成する団体間の連携効果のある「地域まちづくり計画」の策定等についても、4地区で策定が完了したことを受けて、他地域においても、策定に対する意識が高まりつつある。 ◆地域まちづくり組織の相互の情報交換・連携を図ることを目的に開催されている「地域まちづくり推進協議会」において、地域まちづくりに係る情報の共有化・意見交換が行われている。 ◆地域の実情に即した事業実施や事務局機能の強化に対応するため、地域まちづくり組織に対し交付している、協働の地域づくり支援事業補助金に、自由配分制度を導入したほか、事務局人件費として充当できるようにした。 ⇒ H24末には、地域まちづくり組織への支援や地域まちづくり計画の策定に向けた一層の理解促進を進めていきながら、地域主体のまちづくりを活性化することにより、地域内・地域間における連携が強化される見通し。	◆地域内の多様なまちづくり活動主体の力を生かしながら、地域の意思に基づいた地域まちづくり活動を進めていくには、地域まちづくり組織の地域内・地域間における連携の強化を促進し、より多くの地域住民の参加と目指すべきまちづくりの姿の共有化を図る必要がある。

3 施策を構成する事務事業の活動指標

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	単位	指標の数値(上段:目標値, 下段:実績値)					重点度(A~C) ※施策目標に対する寄与度	事業の方向性	施策目標を達成するための取組方針
						H20	H21	H22	H23	H24			
						実績	実績	実績	実績	実績			
1	協働の地域づくり補助金	地域まちづくり組織	H15	地域まちづくり計画推進地区数(累計)	地区	1	5	5	10	39	A	継続	地域まちづくり計画の策定や具現化等に対する財政支援となるよう、地域の自主性、自立性を尊重しながら、地域が活用しやすい補助制度の検討を進める。
						1	4	4	14				
2	宇都宮市自治会連合会補助金	宇都宮市自治会連合会	S54	自治会加入世帯数	人	145,000	145,000	146,000	146,000	147,000	A	継続	地域主体のまちづくりの実現には、住民に最も身近なコミュニティである自治会の活動の活性化は非常に重要であることから、その活動の支援を行う。
						144,015	144,901	145,203	146,085				
3	地域集会所等建設推進事業補助金	町内会、自治会等	S53	補助金支給件数	件	24	24	24	24	24	A	継続	自治会の活動拠点の整備を進めるため、ニーズを踏まえた制度となるよう検討する。
						14	13	21	23				

3 施策を構成する事務事業の活動指標

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	単位	指標の数値（上段：目標値，下段：実績値）					重点度 (A~C) ※施策目標に対する寄与度	事業の 方向性	施策目標を達成するための取組方針
						H20	H21	H22	H23	H24			
						実績	実績	実績	実績				
4	コミュニティ助成事業補助金	地域コミュニティ組織	S60	助成累積地区数	団体	39	39	39	39	39	A	継続	特色あるコミュニティ活動を展開していくため、活動に必要となる備品等の購入を支援する。
						15	17	19	21				
5	河内地域情報紙	地域住民	H19	発行回数	回	6	6	6	6	—	A	見直し	平成24年度から「協働の地域づくり支援事業補助金」に集約する。
						6	6	6	6				
6	上河内地域情報紙	地域住民	H19	地域情報紙の発行回数	回	4	4	4	4	—	A	見直し	平成24年度から「協働の地域づくり支援事業補助金」に集約する。
						4	4	4	4				
7	河内さざ草園事業	地域住民	H19	自然観察会等	人	80	80	80	80	—	B	見直し	平成24年度から「協働の地域づくり支援事業補助金」に集約する。
						114	120	118	43				
8	河内地区体育祭交付金	地域住民	H19	参加者数	人	4,300	4,300	4,300	4,300	4,300	B	継続	河内地域の象徴的な事業として住民に深く浸透していることから、地域が主体的に取組むことができるよう意識の醸成を図るとともに、活動の更なる活性化を支援する。
						4,100	4,000	4,000	4,100				
9	上河内地区体育祭等交付金	地域住民	H19	地区体育祭・スポーツ大会参加者数	人	2,450	2,500	2,520	2,540	2,560	B	継続	上河内地域の特色ある事業として、地域が主体的に取組むことができるよう意識の醸成を図るとともに、事業運営や経費負担などについて自立を促進していく。
						2,326	2,278	2,080	580				
10	河内地区高齢者・福祉運動会交付金	地域住民	H19	参加者数	人	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	B	継続	河内地域のすべての高齢者・障がい者が参加できる仕組みを構築し、地域の特色事業としていく。
						0	1,000	900	1,100				
11	河内ふるさと産業まつり交付金	市民	H19	入場者数	人	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	B	継続	河内地域の特色を生かした事業として、より地域に根付いた事業となるよう、参加団体が自主的・主体的に企画運営を行うように意識を醸成する。
						10,000	13,000	13,000	14,000				